

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

# の 議会ゆがわら

平成29年9月

No.103

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>  
湯河原町議会のE-mail [gikai@town.yugawara.kanagawa.jp](mailto:gikai@town.yugawara.kanagawa.jp)

編集/発行 湯河原町議会  
〒259-0392  
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1  
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674

## 議会報告会を開催しました

### 7月6日(木)

湯河原町役場にて湯河原町議会報告会

今後の主要事業について



6月  
定例会

5/25~6/9

7月  
臨時会

7/5

● 主な内容 ●

一般質問	.....	2
委員会だより	.....	4
審議と賛否	.....	9
議会報告会	.....	10

# 6月定例会

平成29年第2回湯河原町議会6月定例会は、5月25日から6月9日までの16日間(本会議開催3日間)にわたりに開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、人事など議案12件を審議しました。

# 7月臨時会

平成29年第3回湯河原町議会7月臨時会は、7月5日に開催されました。

この臨時会では、補正予算の議案1件を審議しました。

# 一般質問

※一般質問とは…

議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般(一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など)について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問するものです。

質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。

## Q ふるさと納税について

**石井 温議員**  
新聞等の報道で、ふるさと納税の方向性が変わってきました。本町では地方創生の一環として、たくさんのご寄附をしていただき、大変ありがたいことだと思っております。

**A** ①本町におけるふるさと納税制度は、町内産業の活性化を目指すための記念品の贈呈であり、資産性や換金の可能性も低いものであると考えております。

また、まちづくり寄附金推進のための広告では、記念品の価格の割合は表示せず、寄附金も基金により管理し、使途などを明確にしており、平成28年4月以前に発布された、総務大臣通知を遵守した運用を図っております。

②国の示す返礼割合は概ね3割との見解を、どのようにお考えですか。  
③寄附していただいた方のうち、町民と町民以外の比率はどれくらいですか。  
④町民が本町にふるさと納税をすることのメリットとデメリットをお聞かせください。

しかしながら、ふるさと納税に関する返礼割合を3割以下とする旨などの平成29年4月1日付け総務大臣通知は承知しておりますので、今後とも、税に関する控除制度を主とする現在のふるさと納税制度が継続して実施できるようにするため、他市町村の返礼割合などの見直し状況を注視しながら、本町におきましても、見直しの必要性を検討していきたいと考えております。

⑤町民からふるさと納税をいただいた場合、寄附金控除により町税は減となりますが、寄附金は増となりますので、町全体としての収入に大きな影響はございません。さらに記念品を贈呈することにより、町内産業の活性化が図られるものと考えております。

【その他の質問】  
・真鶴町との広域連携について



ふるさと納税返礼品の例

### Q 観光の活性化、温泉療法の健康保険適用について

善本真人議員

湯河原町は、

イタリアのティヴォリ市と姉妹都市の提携を結ぶこととなりました。ティヴォリ市も、古くから温泉で有名なところですよ。ヨーロッパでは温泉療法が健康保険制度の中の医療行為として適用されています。しかし、我が国ではいまのところ、温泉療法そのものは保険適用になっていません。日本では、温泉を利用して療養を行っただけでは、一切の補助がないのかというと、厚生労働省が定める一定の基準を満たした、温泉利用型健康増進施設で医師に温泉療養指示書を記載してもらい、温泉利用指導者資格を持ったスタッフが、

温泉療養指示書に従って、入浴指導を行い、その後、認定施設で発行された領収書と温泉療養証明書を、一緒に確定申告の際に税務署に提出すると、医療費控除になります。湯河原町内の温泉を他の市町村の温泉と差別化するために、医療費控除の対象温泉にしてはどうかと考えます。

また、ティヴォリ市ではファンゴ（温泉泥）を使った治療も行われていると聞き及んでおります。まさに、湯河原でも以前からファンゴに取り組んでおりますので、医療費控除に留まることなく、ゆくゆくは保険の適用が出来る様な、温泉の活用を進めるべきではないでしょうか。

A

今後、本町の温泉を医療費控除の対象温泉とすることににつきましては、まずは先進事例を研究し

てまいりたいと考えております。

また、日本の医療保険制度は公費、保険料を財源としており、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会において審議されておりますので、保険適用には高いハードルがあると考えております。

### Q 不妊治療の取り組みについて

佐藤 恵議員

人間の生命も、一つの命として産声を上げるまでには、いくつもの奇跡を重ね、この世に誕生します。その過程で困難が生じた場合、それを乗り越えられるよう行政が支え、寄り添っていくことが大事なことだと思います。県として助成はあるものの、不妊の治療に対して、まだまだご本人の負担は重いもの

があります。その方々の希望や熱意に寄り添えるよう、妊娠、出産等の支援の充実についてお尋ねいたします。

①全国的にも増加していると言われる不妊症に関する、町政上の認識について

②不妊症に対しての本町における相談窓口、周知支援する体制の現状と希望について

③県の特定不妊治療費助成に対して、本町が上乗せすることについてのどのようにお考えかお伺いたします。

A

①不妊に悩む方が適切な不妊治療を受けられることは、大変重要なことであると認識しております。

②特定不妊治療費助成の広報につきましては今後内容も考えながら、タイミング、年に何回というようなことも考えながら

掲載を考えたいと思えます。また、県のホームページへのリンクについては、町のホームページの改修を電算の担当と相談してできるだけ早くリンクさせたいと思います。

③不妊治療を受けられる方の費用負担が大きいこともございますので、今後、県内の状況を注視しながら、不妊治療対象者の把握方法を含め情報を収集するとともに、他の母子保健事業との兼ね合いを考えながら検討してまいりたいと考えております。

### Q 就学援助制度の前倒し支給について

本町における現行の就学援助制度は、新入学時に必要なランドセル等の購入費用について支給されるものの、入学後の支給となっており、国は平成30年度から入学前

の支給を可能としましたが、本町における対応について伺います。

**A** 入学準備に係る学用品等は高額になってきており、入学前に交付できることが望ましいと考えますが、今回国における要綱の改正を踏まえ、対象世帯の決定方法及び支給方法について、今後教育委員会にお諮りし検討してまいります。

## Q 就学援助金制度の実態と内容の拡充について

**並木まり子議員**  
就学援助金制度は、義務教育は無償とした憲法26条などに基づき、小中学校の児童・生徒が安心して勉学に励めるよう、学用品、給食費、修学旅行費などを補助する制度です。2013年度は生活保護を受けている方

と合わせて全国で6人が1人が就学援助を利用しています。この町で就学援助を利用している人は、児童・生徒数の10%ですが日本の最近の貧困化率が高くなっていることを考えますと利用できる人が援助を受けられていないのではないかと思われ

ます。また就学援助制度の対象世帯の収入が、生活保護世帯の需要の額の1・1倍以下となっておりますが、他の町では1・3倍から1・5倍になっております。早急に改善していただきたく次の内容について伺います。

- ①就学援助制度を知らせる方法及び援助を利用している児童・生徒数と率、金額と支給日について
- ②就学援助基準の見直しの意向について

**A** ①お知らせは全児童・生徒の保護者に毎年学校を通してチラシを配布し、

新入学の家庭には保護者説明会でご案内しています。援助を利用している人は要保護14名で0・1%、準要保護107名で7・3%です。金額は小学生が6万5,040円、中学生が4万920円

円で対象児童・生徒には新入学用品費及び修学旅行費が加算されます。支給日は7月、12月、3月です。

## Q 高齢者福祉の充実について

高齢化率が県内で最も高い順位になっております。老老介護や独居老人を誰が支えていくのか大きな課題になっております。湯河原は地形的に坂が多く、買い物や病院に行

②1・1倍という基準が低いのは事実ですので教育委員会にお諮りして検討してまいります。

くなどの最低限の生活行動に交通手段の確保は喫緊の課題です。現在交通不便地域解消の検討が行われています。路線バス、コミュニティバスの拡充、デマンドタクシー等の導入の検討も必要では。シニアパスに町の補助も必要では。

**A** 交通不便地域の約1,000世帯にアンケートを行い、地域公共交通会議を3月から開催し協議しています。今後も町民の意見を聞き検討してまいります。



## 委員会だより

### 総務文教・福祉 常任委員会

(6月6日開催)

#### ○案件

●平成29年度交通不便地域解消に係る作業スケジュール(案)について

湯河原町地域公共交通網形成計画策定に向けた今年度中の作業スケジュールについて説明を受け、審議しました。

●旧湯河原中学校跡地の整備計画について

委員会で所管する(仮称)防災コミュニティセンター建設工事、教育委員会庁舎解体撤去工事、小田原養護学校分教室新築工事、JCHO湯河原病院建設工事について、これらのスケジュール及び概要について説明を受け、審議しました。

●八雲・まさご保育園統

合事業について

本年度から工事に着手予定の新保育園の建設工事について、実施設計概要、年次計画及びスケジュールについて説明を受け、審議しました。

建物の概要(予定)は、

鉄筋コンクリート造、地上2階建、延床面積2,069・54㎡、事業費総額 8億9,841万円 平成29・30年度の2か年継続事業

●マタニティ・サポート119について

町内に分娩可能な産科病院がないため、頼ることができない家族等がいない妊婦が不安を抱いている中で、安心して妊娠・出産することができると期待される体制を整えるため、出産時の入院に際し、搬送に必要な設備を備えた専用車両を配備する計画の説明を受け、審議しました。

「(仮称)産急車導入事業」

としていましたが、アンケートの結果「マタニティ・サポート119」を採用しました。

○主な報告事項

●平成29年度防災に係る訓練について

今年度実施が予定されている土砂災害防災訓練・海水浴場津波対策訓練・かながわシエイクアウト・湯河原町総合防災訓練・沿岸地区津波避難訓練・富士火山防災訓練の6つの防災に関する訓練の内容等について報告を受けました。

●平成29年度イタリアアイヴオリ市との交流について

6月に行われるティヴオリ市のイベントへ、本町の観光大使である小山みつな氏などのアーティストを派遣し、湯河原町や日本の文化を紹介し、両市町の交流を推進すること。また、7月にティ

ヴオリ市民で構成するサッカーチームを受け入れ、交流試合を行い、住民レベルでの交流を深める予定であることの報告を受けました。

●国民健康保険事業について

平成28年度の国民健康保険事業特別会計の決算見込等の報告と、平成29年度における国民健康保険料率について対前年比で一人当たり保険料を平均約6%引き下げて算定したことの報告を受けました。

●美術館カフェ整備について

現在、美術館周辺では、湯元通り街なみ環境整備事業や民間資金による再整備などが進んでおり、温泉場エリアでの回遊性を高め、観光客の滞在時間を増やすため、美術館の無料開放スペースにカフェを整備することについて報告を受けました。

●高齢者アンケート調査の結果について

●平成28年度臨時福祉給付金等支給事業実施状況について

●平成28年度人権教育に係る年間計画の取組状況について

●平成28年度教育委員会の点検・評価について

●平成28年度社会教育事業の実施状況について

(6月30日開催)

○案件

●(仮称)防災コミュニティセンターについて

本年度から工事に着手予定の(仮称)防災コミュニティセンターの実施計画概要、年次計画及びスケジュールについて説明を受け、審議しました。

30年度の2か年継続事業

(7月24日開催)

○案件

●平成29年度湯河原町総合防災訓練実施計画概要(案)について

本年度は9月3日(日)に自主防災組織が各地区において実践的な訓練を実施すること及びその内容等について説明を受け、審議しました。委員からは、現在行われている大地震を想定した訓練だけではなく、大雨時の河川氾濫を想定した訓練も実施できないかといった意見が出されました。

○報告事項

●空き家情報の提供について

町で実施予定の空き家等実態調査及び所有者等への意向調査により収集した情報のうち、「売りたい・貸したい」といった情報について、県西地

域2市8町と神奈川県東  
建協会小田原支部で構成  
される「かながわ県西空  
き家バンク」のホームペ  
ージへ情報提供する予定  
であることの報告を受け  
ました。

## 環境・観光産業 常任委員会

(6月2日開催)

○案件

●旧湯河原中学校跡地の  
整備計画について

委員会です管する9m  
新設道路、駐車場整備工  
事、擁壁工事について、  
これらのスケジュール及  
び概要について説明を受  
け、審議しました。

●下水道事業の公営企業  
化について

平成29年度から地方公  
営企業会計に移行した下  
水道事業会計について、  
いままでの官公庁会計と  
の違いや公営企業化した  
ことに伴う効果等につい

て説明を受け、審議しま  
した。

○主な報告事項

●駅前広場整備事業につ  
いて

照明設備について、当  
初の設計ではJIS規格  
に基づき照度を決定した  
が「照明が暗い」といっ  
た駅利用者からの意見を  
受け、より照度の高い器  
具に変更したこと及び竣  
工後の旅館等送迎バスの  
駅前バスロータリー利用  
について、11人乗り以上  
のマイクロバス等は事前  
登録制で15分以内の停車  
ができるようルール化を  
図っていくことの報告を  
受けました。

●官民連携推進事業につ  
いて

温泉場エリアにおける  
地域資源の発掘や万葉公  
園と観光会館を町と民間  
が連携し活用する方法に  
ついて、調査・研究した  
結果の報告を受けました。

今後は新たに設立される  
「まちづくり会社」の中  
心に空き家等の再生・活  
用、万葉公園・観光ステ  
ーション等の整備・管理  
運営事業に取り組む予定  
です。

●鍛冶屋ガード拡幅事業  
工法比較検討結果及び住  
民アンケート調査結果に  
ついて

東日本旅客鉄道株から  
示された5つの施工法の  
うち、作業時間等を考慮  
し最も現実的な工法をボ  
ックス形式1案に絞った  
が、工期について最低10  
年(工事期間中通行止  
め)、総工事費も55億円  
以上見込まれるとの報告  
を受けました。

●湯河原温泉におけるフ  
ァンゴ(温泉泥)事業に  
ついて

短期間で温泉効果が得  
られるとされているファ  
ンゴ(一定の割合で配合  
した泥を源泉で熟成させ、  
温泉成分を持たせた温泉

泥)施設をこごめの湯  
内に整備する予定であ  
ることの報告を受けま  
した。

●平成28年度海浜公園  
テニスコート、総合運  
動公園グラウンド、総  
合運動公園パークゴル  
フ場の利用状況につ  
いて

●平成28年度海辺公園  
ドッグランの使用状況  
について

●平成28年度湯河原梅  
林「梅の宴」実施報告  
について

●平成28年度こごめの  
湯、観光会館、独歩の  
湯の利用状況について

●平成29年度夏季行事  
実施計画について

●外国人向け情報発信  
促進事業(日系外国人実  
施報告について)

●農業振興地域整備計  
画の見直しについて

●ごみの回収状況につ  
いて

●幕山浄水場整備工事

について(経過報告)

## 広域行政 特別委員会

(6月8日開催)

湯河原町と真鶴町で推  
進している広域行政の事  
業について、平成28年度  
に実施した推進事業の経  
過と平成29年度の事業計  
画について説明を受け、  
審議しました。また、今  
後予定されている神奈川県  
立小田原養護学校湯河  
原・真鶴方面分教室の設  
置に伴い、湯河原町が実  
施する工事等に要する経  
費について真鶴町に負担  
を求めるための覚書(案)  
について審議しました。

## 町税等徴収対策 強化特別委員会

(7月24日開催)

平成28年度の町税等収  
納状況、滞納繰越分の状  
況について報告を受け、

差押処分などの今後の具体的な徴収対策の強化方法等について審議しました。

また、平成27年度から導入されたコンビニ収納とフレジット収納について科目別の利用状況の報告を受けました。

**公の施設等整備調査特別委員会**

(6月8日開催)

○案件

**●旧湯河原中学校跡地の整備計画について**

今後、町が整備する予定の9m道路・駐車場整備工事、擁壁工事、(仮称)防災コミュニティセンター建設工事、教育委員会庁舎解体撤去工事、県が整備する予定の養護学校分教室新築工事、JCHOが整備する予定の病院建設工事についてスケジュール等の説明を受け、審議しました。

**●湯河原町駅下臨時駐車場について**

現在、タワシー等待機場所として利用している駅下臨時駐車場について、近隣の民間事業者から賃借の申出があり、町では駅前広場整備工事の完了後に敷地の一部を賃借する予定であることの説明を受け、審議しました。

**●湯河原町地域福祉会館について**

5月17日に開催した湯河原町福祉会館運営協議会において各区長等から出された意見について説明を受け、審議しました。委員からは、「規模は小さくても全拠点維持してほしい」との要望は無理である。空き家・空き店舗の活用も積極的に検討すべき。等の意見がありました。

# 補正予算が決まりました

【平成29年度】

【平成29年6月定例会】

会計名・補正額	概要	要
一般会計(第1号) (1億2,585万4,000円の増額)	(仮称)ゆがわら道の駅整備事業費の増額 案内所運営事務経費の増額 ファンゴ施設開業支援事業費の増額 放課後児童健全育成事業費の増額 美術館カフェ整備事業費の増額 など	
国民健康保険事業特別会計(第1号) (増減なし)	前期高齢者納付金の増額 予備費の減額	
後期高齢者医療特別会計(第1号) (増減なし)	徴収費の増額 予備費の減額	
温泉事業会計(第1号) (増減なし)	賃金の増額 予備費の減額	

【平成29年度】

【平成29年7月臨時会】

会計名・補正額	概要	要
一般会計(第2号) (5億1,510万円の増額)	財政調整基金積立金の増額 (仮称)防災コミュニティセンター整備事業費の増額 など	

## 専決処分承認

※専決処分とは  
地方自治法で決められた議  
会が議決すべき事項について、  
議会を召集する時間的余裕が  
ないなどの場合に、議会が議  
決をする前に町長が処理をす  
ることを専決処分といえます。  
専決処分により処理した事  
項は、次の定例会において議  
会の承認を得なければなりま  
せん。

## ●湯河原町消防団員等公 務災害補償条例（一部改 正）

非常勤消防団員等に係  
る損害補償の基準を定め  
る政令の一部を改正する  
政令が施行されたことに  
伴い、非常勤消防団員等  
に係る損害補償の算定の  
基礎となる額の加算額及  
び加算の対象について改  
正するため、条例の一部  
改正を専決処分したこと  
について報告を受け、承  
認しました。

## 条例の改正

## ●湯河原町手数料条例 （一部改正）

神奈川県屋外広告物条  
例の一部を改正する条例  
の公布に伴い、手数料を  
徴収する事項及びその金  
額について改正するため、  
条例の一部を改正しまし  
た。

## 動産の取得

## ●消防ポンプ自動車

消防署に配備している  
消防ポンプ自動車の更新  
について、長野ポンプ株  
式会社東京営業所から購  
入することを議決しまし  
た。（購入金額 4,599  
万7,200円）

## 人事案件

## ◆湯河原町副町長の選任 について

露木高信さんの任期が  
平成29年6月30日で満了  
となるため、引き続き露  
木さんを副町長に選任す  
ることに同意しました。  
任期は平成33年6月30  
日までです。

## ◆人権擁護委員候補者の 推薦について

深澤昌光さんの任期が  
平成29年9月30日で満了

となるため、引き続き深  
澤さんを人権擁護委員候  
補者として法務大臣に推  
薦することに同意しまし  
た。任期は平成32年9月  
30日までです。

## ◆人権擁護委員候補者の 推薦について

小澤千鶴子さんの任期  
が平成29年9月30日で満  
了となるため、引き続き  
小澤さんを人権擁護委員  
候補者として法務大臣に  
推薦することに同意しま  
した。任期は平成32年9  
月30日までです。

## 全議員研修

平成29年7月12日（水）、  
議会協議会室において、  
中央大学法学部教授の磯  
崎初仁先生を講師にお招  
きして全議員研修を行  
いました。

イスをいただいた磯崎先  
生に、再度、ご教示をい  
ただきたく、「人口減少  
時代の議会改革」と題し  
た講演を傾聴しました。





## 審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成29年6月定例会)

議案番号	議案名	議員名												審議結果	採決日
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤 恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井 温	露木寿雄	室伏重孝	原田 洋		
31	専決処分の承認について（湯河原町諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	5/26
32	専決処分の承認について（湯河原町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	5/26
33	湯河原町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
34	平成29年度湯河原町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
35	平成29年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
36	平成29年度湯河原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
37	平成29年度湯河原町温泉事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
38	湯河原町指定金融機関の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	5/26
39	動産の取得について（消防ポンプ自動車の購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	6/9
40	湯河原町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	6/9
41	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	6/9
42	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	6/9

(平成29年7月臨時会)

議案番号	議案名	議員名												審議結果	採決日
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤 恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井 温	露木寿雄	室伏重孝	原田 洋		
43	平成29年度湯河原町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	7/5

### 議員研修・視察

養護学校視察(5月17日)

旧湯河原中学校跡地へ整備が予定されている小田原養護学校分教室の参考とすべく現状を確認するため、小田原市にある神奈川県立小田原養護学校へ現地視察を行いました。



寒川町議会視察(5月17日)

議会ICT化（タブレット端末導入）研修のため、神奈川県内でも先進地である寒川町議会へ視察してまいりました。

# 議会報告会

テーマ：  
「平成29年度予算の審議内容について」  
「今後の主要事業について」

平成29年度 議会報告会  
日時 平成29年7月6日(木)  
午後7時から  
会場 役場第2庁舎3階会議室  
参加者 39人  
出席議員 14人

## 議会報告会内容

今回の議会報告会は、「平成29年度予算の審議内容について」と「今後の主要事業について」の2つのテーマについて、各議員から説明を行い、説明終了後、参加者の皆様からの質問や意見をお聴きし、アンケート調査を実施しました。

### 平成29年度予算の審議内容について

平成29年度予算の細部を審議するために設置された、予算審査特別委員会での審議内容をまとめた資料と予算ガイドブックを配付し、参加者の皆様に確認していただきました。

### 今後の主要事業について

今後進められる主要事業のうち、町民の皆様に特に身近だと思われる7つの事業を取り上げ、5人の議員がこれまでの経過や今後の予定などについて報告しました。

## 主な質疑・意見の内容（要約）

### 1 マタニティサポート19 導入事業（説明 善本真人議員）

○女性救命士を搭乗させる計画とのことだが、現状女性隊員は、24時間勤務をしていないと思う。夜間に分娩が必要となった場合はどのように対応するのか。

### 3 まちづくり寄附金推進事業（説明 石井 温議員）

○質疑・意見等特になし

### 4 (仮称)防災コミュニティセンター整備事業説明 山本俊明議員

○町議会に設置されている公の施設等整備調査特別委員会で、町全体の公共施設のあり方を研究したうえで、最初の施設として位置付けられたものか。  
○中央区民会館の今後のあり方と関連して、この施設内に位置付ける等の協議はなされたか。

### 2 W-1コーンスポット整備事業、街歩き情報配信サービス促進事業（説明 室伏寿美夫議員）

○W-1コーンの使い方が分からない町民向けの勉強会を実施してもらえないか。

○観光客に利用してもらうことが目的とのことだが、現在の整備個所だけでは足りないのもっと数多く整備して面として使えるようにしてほしい。また、利用時間の制限は何かならないか。

○今後、このような施設をこ

こだけではなく造って

くことは必要だと思う。人口に対して避難施設が少なくないと思うが、町全体の防災対策はどの程度進んでいるのか。町民にあまり伝わっていないように感じる。町は現状では避難施設が十分ではないと判断してこの施設を計画したと思うが、これ以外の防災に対するビジョンはどのようなものをもっているのか。  
○たつた260人のために8億円ですか。500人とか1千人収容できるものは考えなかったのか。町民全員が避難できる施設をというのであれば税金が使われても納得ができる。  
○どんなに立派なものがあっても、災害が起きた際は遠くからは避難できないので、現在ある建物の中に50人〜100人位が避難できる場所を数多く整備した方が良いのではないかと。立派な施設を建てても、ごく一部の人しか使えないとしたら納得できない。  
○8億円もかけて新しい施

設を建てるより先に、各地域に備蓄品を整備すべきだと思つ。

## 5 アトリエ公開事業、美術館カフェ整備事業

(説明 松井一寿議員)

○この事業はいつ頃完成予定ですか。

望ましいと思つ。

いざ出産となった時に、マタニティサポート119を呼ぶか救急車を呼ぶか判断が難しいのではないかと。

・JCHO湯河原病院に産科を加えてもらえるよう、議会としてどの程度要望してくれたのか。

の要望はまとまっている段階だと思つので、今後は早急に建替える会館の順番等、優先順位を決めて工事に着手してほしい。

・せっかく議会内に公の施設等整備調査特別委員会があるのだから、町全体の整備計画案を策定して各区長へ示してほしい。

## 意見交換会内容

今年度も議会報告会終了後に町議会議員が3つのグループに分かれ、そこに町民が加わり自由な意見交換会を行いました。その際に出された意見や要望(要約)

### ○マタニティ・サポート119について

・町内に産科がなく、また新たに産科病院を誘致することも困難だと思つので、この事業は大変ありがたいと思つ。

・出産する女性の立場から言つと、同乗する救急隊員は女性隊員である方が

### ○美術館カフェについて

・美術館にカフェを整備することだが、民間事業者に委託する等どのように運営していくのか。また、経営が赤字になった場合は町が補填するのか。

・民間事業者に経営をまかせるつもりがあるならば、カフェをつくる際にその事業者が使い易いよう、意見を聞きながらつくった方がよいのではないかと。出来上がってしまった設備では、事業者によっては使い難い面もあると思つ。

### ○地域福祉会館について

・現状の把握や各区から

### ○道の駅について

・町では道の駅を整備する計画があるようだが、全国には大小様々な道の駅が1,100近くある。せっかく整備するのなら、①一度訪れた方が再び訪れ

②訪れた方が友人・知人に勧めたくなる③観光事業者が勧める道の駅となるよう、先般実施したギャップ調査の結果も参考にしながら検討してほしい。

### ○防災について

・現在の役場庁舎は、災害

時に機能しなくなってしまうのか。その点であるならば、この防災コミュニティセンターが災害時の拠点となるのは頼りになり嬉しい。

・町内にある旅館等に被災者を受け入れてもらえるようになっているか。

・役場前にできた創価学会の会館は災害時に被災者を受け入れてもらえるよう、町と協定などは行っているか。

・災害時には役場や各区で用意した備蓄食糧だけでは到底足りない。個人個人が自分の分は自分で確保する必要性をもつと住民に周知するべきである。

・最近のゲリラ豪雨により全国各地で甚大な被害がでているが、湯河原では河川の氾濫に対する防災対策をどの程度行っているか。

住民にも示してほしい。

・新崎川の整備をもつとしてほしい。管理している県にも伝えてほしい。

### ○鍛冶屋ガードについて

・工事の概要が10年間で50億円かかると聞いたが本当か。現状、道幅が狭いお蔭で交通事故がない。

・鍛冶屋ガードは現状でもバスが通れる。拡幅するのならば、城堀ガードが先ではないか。

### ○その他

・JCHO湯河原病院の重要性は理解しているが、旧中学校跡地を売却した際の町民に対する説明は、決して足りていたとは思えない。結果報告だけでなく、計画の段階から町民に情報を出してほしい。議会としても情報発信が足りなかったと思つ。



©湯河原町

## 議会報告会 アンケート結果(抜粋)

※原文のまま掲載しています。

- 大変ゆういぎでした。感動しました。
- 有意義な意見交換会でした。
- まず入って、受付の方はあいさつがありました。議員は全くない。そういう所からもっと町民の代表なのでしっかりやってほしい。災害の件も先に260人よりも若い命とかを守るのが先だと。ならば8億はまた無駄になる。  
何にしても無駄遣いばかり。教育センターも工事したのにもかかわらず、また新しいものを建てるなら、もっと早くしてくれればよかったのに。無駄遣いが多すぎます。  
議員の方は、どう考えているのですか。もっと町のために考える事があると思います。初めて報告会に伺いましたが、とても残念です。お金＝税金は血税です。そう思いませんか？ マタニティーサポートに関しても、年間どれくらい使われるのか。

- それより、消防署に女性が働いていて24時間勤務していないのはおかしいし、初産の妊婦さんは、不安になると思うなら、もう少しちゃんとしてからマタニティーサポートを始めるべきではないでしょうか。
- まずは議員の態度をあらためてください。(役場の職員も)
- 防災コミュニティセンターに災害時の活動するにあたりなぜ、社会福祉協働会事務局を入所させないか？私は理解が出来ない。
  - 現在、町の議会が実施しようとしていることは理解できるがその前の段階として実施することについての要望を受ける機会を設けてほしい。税金の使い方についての情報公開が必要だと思う。
  - 有意義な意見交換になりました。  
次回開催時には今日の議論を整理して最初に報告してくれるとありがたいです。



### 傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができません。(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

### 9月議会日程

- 9月12日(火) 午前 本会議(一般質問等)
  - 13日(水) 午前 本会議(条例・補正予算等)
  - 15日(金) 午前 環境・観光産業常任委員会
  - 20日(水) 午前 総務文教・福祉常任委員会
  - 22日(金) 午前 本会議(決算質疑等)
  - 26日(火) 午前 決算審査特別委員会(一般会計)
  - 28日(木) 午前 決算審査特別委員会(特別会計・企業会計)
  - 10月2日(月) 午前 本会議(委員長報告等)
- 【午前は10時、午後は1時の予定です。】

### 編集後記

紙面にもありますように、例年開催している議会報告会を実施しました。町民の皆様のお声を身近に聴く大切な機会と捉え、今年度の主要事業の説明をさせていただき、今回で2回目となるフリートークでは、活発な意見交換が行われました。いただいたご意見を今後の町政運営に生かされるように議員各位で取り組んでまいりたいと思います。

また、これからもわかりやすい情報をお手元にお届けできるように、この議会だよりの役割を充実させてまいります。(石井 温 記)

### 議会だよりの編集委員会

- 委員長 村瀬 公大
- 副委員長 佐藤 恵
- 委員 並木まり子 松井 一寿
- 石倉 幸久 石井 温